

第1学年

学習内容 (頁は教科書該当頁)		時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
A 家族・家庭と子どもの成長	1. 自立をめざして学ぼう! (p.112～15)	1	■学習内容を学ぶ。 ○小学校の家庭科学習をふり振り返りながら、これからの学習内容を把握する。
	2. わたしたちと家族・家庭と地域 (p.22～25) ①家庭のはたらき ②家庭生活を支える仕事	1	☆家庭生活の機能を理解し、展望をもって家庭生活を送ろうとする意識を高める。
C 衣生活・住生活と自立 1 自分らしく着る・快適に着る	1. 日常着の活用 (p.150～153, p.156～157) ①衣服のはたらき ②自分らしく目的に合わせた着方 ③衣服の活用と選び方	1	■衣服の選択、着用、手入れの方法を理解する。 ○衣服と社会のかかわりを理解し、目的に応じた着用を工夫する。(思考力) ○カラーコーディネートから自分に似合う色を見つけ、その理由を発表する。(表現力・言語能力)
	2. 日常着の手入れ (p.158～169) ①汚れと手入れ ②手入れと表示 ③衣服の洗濯 ④衣服の補修とアイロンかけ	2	■衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 ○スナップボタンつけやまつり縫いなどの基本的な補修方法を身につける。 ○洗剤のはたらきや正しい使用方法を実験を通して理解する。汚れの放置時間によって汚れ落ちに違いがあることを観察し、よりよい洗濯方法を考える。(思考力) ☆洗剤の使いすぎは、環境にも影響することにもふれる。
	3. 環境に配慮した衣生活 (p.170～173)	1	■自分の衣類の洗濯ができる。 ○小学校での学習をふり振り返りながら、手洗いと洗濯機での洗濯を行う。 ○各自の家庭実践を発表し、今後の生活に生かす工夫を見出す。(判断力)
	2. 日常着の手入れ (補修) 日常着の手入れ (洗濯) *洗濯実践の計画 *洗濯実験の発表	2 2 1	
C 衣生活・住生活と自立 2 快適に住まう	1. 住まいのはたらき (p.176～179) ①住まいのさまざまな役割 ②共に住まう	1	■住居の基本的な機能と安全を考えた室内環境を理解し、快適な住まいを工夫する。 ○自分や家族の生活行為から家族の住空間について考える。(思考力)
	2. 安全な住まい (p.180～183) ①住まいの安全対策 ②災害への備え	1	○安全を考えた室内環境の整え方を理解する。 ☆家庭内の事故や自然災害の情報から室内環境の安全性についての意識を高めるように工夫する。
	3. 快適な住まい (p.184～187) ①室内の空気調節 ②住まいと音	1	○快適な室内環境を考える。空気調節や音が快適な室内環境にかかわっていることを確認する。 ☆小学校での学習内容を踏まえ、室内空気の汚染や音の影響が快適な住まいに影響することに気づかせる。
C 衣生活・住生活と自立 3 生活を豊かにする物をつくる	1. わたしや家族の生活を豊かにする工夫 (p.190) 2. 布を用いた物の製作 (p.191～201) ①製作の前に知っておこう ②製作して、活用しよう	3	■生活を豊かにする物をつくる。 ○古着を使って生活を豊かにする物を考え、製作する。(思考力・表現力) 作品例 アイデアバッグ、ティッシュケースカバー等 ☆補修方法の学習で身についた知識や技術を生かせるように支援する。
	B 食生活と自立	1. 健康と食生活 (p.68～87) ①食事について考える ②生活のリズムと食事 ③栄養素のはたらきと食品 ④中学生に必要な栄養 ⑤食事の計画	1 1 1 1
2. 食品の選択と保存 (p.88～101) ①食品が口に入るまで ②生鮮食品の選び方 ③いろいろな加工食品 ④加工食品の表示 ⑤加工食品の選び方 ⑥保存のしかたを考える ⑦食品の安全と情報		1 2	■食品の正しい選び方や保存方法を理解し、生活に生かす工夫を考える。 ○生鮮食品の選び方や保存方法、調理上の性質を理解する。 ○加工食品の表示や選び方、食品の安全性について調べる。 ☆生活に根づいた学習するため、各家庭にある加工食品にはどのような表示があるのか調べ、表示の見方の確認を行う。(習得)
3. 調理をしよう (p.102～127) ①調理の計画 ②調理の基本 ③肉の調理 ④野菜の調理		2 2 1 2	■調理に関する基礎・基本となる知識や技術を身につける。 ○正しい調理用具(包丁)の扱い方を理解する。 ☆生徒の定着度を確保するために、実技試験を実施する。(習得) ☆発展的な学習としてりんごの飾り切りを行う。(活用) ○正しい調理用具(計量・加熱器具)の扱い方を理解する。 ☆習得した知識や技術を活用した調理(卵焼き)を行い、家庭での弁当づくりに生かせるようにする。 ○だしのうまみの比較実験 (習得) →かきたま汁の調理 (活用) ○野菜には適した加熱条件や加熱のタイミングがあることを理解するために野菜の加熱実験を行う。(探究) ☆小学校での学習をふり返る場面として地域の産物を使用した野菜の調理を各自が考えた方法で行う。(活用) ○加熱実験をもとに肉じゃがの調理方法を考える。(活用) ☆家庭での肉じゃがの調理方法について調べて調理の参考にさせる。 ○グループごとに考えた方法で肉じゃがの調理を行う。(活用) ○肉じゃが調理のしかたを伝え調理のポイントを発表し、家庭で生かせる調理方法を見出す機会とする。また、各自の家庭で肉じゃがの調理を実践する。(探究思考力) ☆確かな力を育むために、習得・活用・探究の連続性を意図した学習活動を行う。 ○家庭実践についてはレポート提出。(表現力・言語能力)
調理用具の使い方(包丁)		2	
調理用具の使い方(計量・加熱器具)		2	
おいしさの秘密を考える(味覚体験学習)		1	
野菜の加熱実験・簡単な野菜の調理		2	
肉じゃがの調理方法を考える		1	
肉じゃがの調理		1	
*肉じゃが発表会・家庭実践計画		1	

第2学年

学習内容	時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
B 食生活と自立 3. 調理をしよう (p.115～121) ④魚の調理	3	○いわしの手開きを行い、加熱によるたんぱく質の変化を確認する。(習得) ○たんぱく質の変化を確認後、いわしをかは焼きにする。

学習内容		時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
B 食生活と自立	3. 調理をしよう (p.122～127) ⑤野菜の調理	2	蒸し器の使い方 ①(蒸しパン) ②(温野菜)
	加工食品を使った調理 (スパゲッティ)	2	○加工食品と生鮮食品を組み合わせるスパゲッティの調理を行う。(思考力)
	4. 地域の食材と食文化 (p.134～141) ①地域の食材と郷土料理 ②受け継がれる食文化 ③地域と世界へ目をむけて	2	地域の食材と郷土料理 給食に使用されている食材を調べよう
	食生活の自立をめざして	1	■地域の産物やその産物を活用した食文化を理解する。 ○身近な食材を利用することの利点を考える。(思考力) ☆給食の材料にもふれる機会とする。(栄養教諭等とのT T) ■食料資源の現状や食生活が及ぼす環境問題に対する意識を高める。 ○食料資源や環境に配慮した食生活のあり方を考え、自己の課題を追究する。(思考力・判断力)
D 身近な消費生活と環境	1. 家庭生活と消費 (p.208～209, p.256)	1	■環境に配慮した消費生活への意識を高め、持続可能な社会を築こうとする意識をもつ。 ○生活に必要なものがどのように生産から廃棄の道筋をたどるのかを考えるとともに計画的な消費生活の必要性を理解する。(思考力)
	2. 商品の選択と購入 (p.210～217) ①商品購入のプロセス ②生活情報の活用 ③商品の価格 ④販売方法と支払い方法	1 1 1 1	■生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入、及び活用ができる。 ○ロールプレイングにより、商品購入の疑似体験を行い、商品購入の際の留意点などを考える。(思考力) ○生活情報の活用方法や商品のマークが示す意味を調べる。 ○商品価格の違いを確認し、商品選択は自分の生活の仕方がかかわることを理解する。(判断力) ☆ロールプレイングを行うことにより、実際の消費行動での思考力や判断力を養う。また、ここで取り扱う商品は学用品や食品など生徒の生活に身近なものとする。
	3. よりよい消費生活のために (p.218～225) ①消費生活のトラブルを防ごう ②消費者の権利と責任 ③消費者を支えるしくみ	1 1	■消費生活における様々な課題や問題を理解し、自分の消費生活を見直すことができる。 ○消費活動におけるトラブルを新聞、インターネットなどを利用して調べ、実態に対する自分の意見をまとめ発表する。(表現力)
	4. 環境に配慮した生活 (p.226～237) ①環境への影響を考える ②エネルギー消費とCO ₂ 排出を減らす ③水を節約し、排水の汚れを減らす ④環境への影響を考えた消費生活 ⑤持続可能な社会へ向けて	1 1 1 1	■自分や家族の消費生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した消費生活を工夫する。 ○自分や家族の生活の仕方をふり振り返り、環境に配慮した生活を考える。(判断力) ○自分の生活における消費行動を確認し、環境に配慮した買い物計画を立てる。(思考力) ○各自の課題を発表し、お互いの課題に対する評価を行う。
	消費生活のトラブル 消費者の権利と責任	1	
	環境と消費	1	
	*実践課題の計画(買い物に行こう)	1	
	*実践課題の発表	1	
これからの消費・環境について考えよう	1		
A 家族・家庭と子どもの成長	1. わたしの成長と家族 (p.18～21) ①わたしの成長 ②わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと	1 3	■自分の生活をふり振り返り、自分の成長を支えてくれた人たちがいることに気づく。 ○自分の成長の様子や当時のできごとを調査する。 ○調査結果をまとめて自分史を作成する。(表現力) ☆家庭環境に配慮を要する場合は、成長過程でおきた出来事や流行したものなどを書かせるようにする。
	3. 幼児の生活と遊び (p.28～47) ①幼児期ってどんな時代? ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④子どもの成長と家族の役割 ⑤子どもの成長と地域 ⑥幼児の遊びと発達 ⑦幼児の遊びを支える 幼児と遊ぶおもちゃづくり	1 1 1 2	■幼児の成長の様子や遊びの意義を理解し、子どもが育つ環境としての家庭や家族の大切さに気づく。 ○幼児の様子を観察し、幼児の特徴(身体、言語、運動機能、情緒等)をつかむ。 ☆観察が難しい場合は視聴覚教材を活用する。 ○助産師さん、経産婦さんから乳児期、幼児期の子どものことかかわりを聞く。 ○地域の地図を使って、幼児の遊び場や地域で実施されている子ども向けのイベントなどを調査する。
	幼児期ってどんな時代?	1	
	幼児の体の発達	1	
	幼児の心の発達	1	
	子どもの成長と家族の役割 子どもの成長と地域	2	
	幼児の遊びと発達	1	
	幼児の遊びを支える 幼児と遊ぶおもちゃづくり	1	
	幼児の遊びと発達	1	
	幼児に適したおもちゃの製作	3	
発達段階にあわせた幼児の遊びを考え、実際に遊んでみる。(思考力) ○遊び方やおもちゃの使用上の留意点を考える。(思考力)			
幼児の成長を促すようなおもちゃを考え、製作する。 ☆遊びやおもちゃについては安全面を十分に考慮させる。			

第3学年

学習内容		時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
A 家族・家庭と子どもの成長	4. 幼児とのふれ合い (p.48～55) ①ふれ合い体験の前に ②ふれ合い体験をする ③ふれ合い体験をふり返る	4 4 3	■学習してきたことを生かし、幼児と楽しくかかわるための工夫を考える。 ○幼稚園、保育園実習のための活動計画を立てる。(思考力) ☆活動内容については事前に訪問先の要望を確認し、安全面などの配慮を行う。 ○ふれ合い体験のねらいを明確にし、個々に目標をもたせる。 ○ふれ合い体験での出来事や幼児の様子を新聞、またはレポートとしてまとめる。(表現力) ○グループごとにふれ合い体験の内容や感想を発表する。(表現力・言語活動)
	世界の子どもたちは、今 (p.64)	1	■世界の子どもたちの生活の様子を知り、グローバルな視点で子どもの生活環境の大切さを理解する。 ○情報メディアを活用して、世界の子どもたちの生活の様子をみる。 ○子どもがおかれている現状や課題にふれ、子どもの権利条約の必要性を考える。 ☆幼児虐待などの問題については生徒の実態を確認した上で配慮する。
	子どもの健やかな成長のために (p.60～61)	1	■幼児の成長や思考に留意した幼児の食事やおやつを調理を行う。 ○幼児期に必要な栄養を補充することができるおやつを考え、調理する。 ☆幼児の食事は家族の愛情や願いが込められていることに気づかせる。
	生活の課題と実践 (p.243)	2	■これまでの学習をふり振り返り、これからの生活を展望して生活をより良くしようとする意識を高める。 ○地域の行事や活動を調査し、地域の人のつながりを感じる。(思考力)
	2. わたしたちと家族・家庭と地域 (p.26～27) 3. わたしたちの家庭生活と地域 5. これからのわたしと家族 (p.58～59)	1	
	①中学生と家族とのかかわり ②これからのわたしと家族との関係 これからの家庭生活と地域・社会 (p.254～255)	1	
	わたしたちの家庭生活と地域	1	
	家庭科学習のまとめ	0.5	○今までの学習をふり振り返り、これからの生活の仕方を考える。(判断力) ☆これからどのような家庭生活を送りたいかを想定させ、技術・家庭科の学習のまとめを行う。(思考力・判断力)

技術・家庭 家庭分野 3年間を見通した年間指導計画案 例④

—1時間ごとのまとまりを重視し、基礎・基本の定着、家庭での実践力の向上をめざす—

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35																				
1年 35時間	A 家族・家庭と子どもの成長		C 衣生活・住生活と自立														B 食生活と自立																																						
			1 自分らしく着る・快適に着る						2 快適に住まう				3 生活を豊かにする物をつくる																																										
	家庭分野ガイダンス		家庭の役割とはたらき		自分らしく清潔に着る		日常着の活用と選び方		日常着の手入れ(補修)		日常着の手入れ(洗濯)		*洗濯実践の計画		*洗濯実践の発表		住まいのはたらき		安全な住まい		快適な住まい		生活を豊かにする物の製作(アイデアバッグ等)				健康と食生活		生活のリズムと食事		栄養素のはたらき		中学生に必要な栄養		*食事の計画		*家庭実践の発表会		生鮮食品の取り扱いと保存		加工食品と食品表示、表示調べ		(包丁)調理用具の使い方①		(計量・加熱器具)調理用具の使い方②		おいしさの秘密を考える(味覚体験学習)		野菜の加熱実験 簡単な野菜の調理		肉じゃがの調理方法を考える		肉じゃがの調理		*調理実習のまとめ(発表会)・家庭実践計画
	1		1		1		1		2		2		1		1		1		3				1		1		1		1		1		1		2		2		2		1		2		1		1		1						
	A(1)ア		C(1)アイ		C(1)ウ						C(2)ア		C(2)イ		C(3)ア				B(1)ア		B(1)イ(3)ア		B(3)ア		B(2)アイ		B(2)ウ		B(1)イ(3)ウ		B(3)ア				B(3)アイウ		B(3)アイウ		B(3)アイウ		B(3)アイウ		B(3)アウ												
①~15		22~25		150~153, 156~157		158~169						176~179		180~183		184~187		190~201				68~87				88~101				102~127																									
2年 35時間	B 食生活と自立														D 身近な消費生活と環境										A 家族・家庭と子どもの成長																														
	魚の調理(加熱によるたんぱく質の変化)			蒸し器の使い方 ①(蒸しパン) ②(温野菜)		加工食品を使った調理 (スバゲッテイ)		地域の食材と郷土料理 給食に使用されている食材を調べよう		食生活の自立をめざして		生活に必要なものの流れ		商品購入の流れ		生活情報の活用		商品の価格		販売方法と支払い方法		消費生活のトラブル		消費者の権利と責任		環境と消費		*実践課題の計画(買い物に行こう)		*実践課題の発表		持続可能な社会へ向けて		これからの消費・環境について考えよう		自分の成長をふり返る		自分史の作成		幼児期ってどんな時代?		幼児の体の発達		幼児の心の発達		(つち1時間 助産師・経産婦の講話)子どもの成長と家族の役割・子どもの成長と地域		幼児の遊びと発達		幼児に適したおもちゃの製作					
	3			2		2		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		3		1		1		1		2		1		3											
	B(3)アイウ			B(3)ア		B(2)ウ(3)アウ		B(3)イウ		B(3)ウ		D(1)アイ				D(1)アイ		D(2)ア		D(1)アイ(2)ア		D(1)アイ		A(1)ア(2)アイ				A(3)ア				A(3)イ																							
115~121			122~127		134~141		208~209, 256		210~217				218~225		226~237				16~21				28~47																																
3年 17.5時間	A 家族・家庭と子どもの成長														まとめ																																								
	幼児とのふれ合い・実習の計画・準備				幼児とのふれ合い学習				実習を終えて(新聞製作)				実習報告会		世界の子どもたちの生活		子どもの権利と条約		幼児の食事・幼児のおやつ調理		わたしたちの家庭生活と地域		家庭科学学習のまとめ																																
	4				4				3				1		1		1		2		1		0.5																																
	A(3)ウ						A(3)エ				A(3)エ		A(2)アイ		全																																								
48~55						64				60~61		243		56~59, 254~255																																									

- ・基礎・基本の知識や技術の定着をはかるために体験的な学習を重視し、実験や実技試験などの場面を意図的に設定しました。
- ・学校で学習したことが家庭生活で生かされ、家庭での実践力を高めていけるように家庭実践のための計画・準備、実践後の発表会などを設定しました(*の授業です)。発表活動では表現力や言語の活用能力を高める機会とします。
- ・食生活の内容(調理)に重点を置き、習得・活用・探求の連続性を生かした学習活動により、確かな力が身につくように工夫しました。
- ・この年間指導計画案の具体的な学習指導案は裏面に掲載しています。